

週 報

こひつじ

第41巻 7号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

ああ、勇士は倒れた

ジョン・ボストロム宣教師を送る

掛川市で伝道しておられたジョン・ボストロムさんは、二月一日(火)、天に召されました。発病して四日後のことです。五九歳でした。告別式は一六日(日)、浜松クリスチャンセンターの河崎秀陽牧師の司式で掛川市の葬儀場で行なわれました。彼の死を惜しむ六〇〇名を超える人びとが参列しました。

「ああ、勇士たちは戦いのさなか、ぼくはすぐにそれを打ち消しに倒れた。あなたのために私は悲で、そんなはずはない。日本の医しむ。私の兄弟ヨナタンよ」(サムエル記第二二の二五、二六)

とダビデは追悼の歌を、ヨナタンについて歌いましたが、ぼくたちの敬愛するジョンさんも戦いのさなかに倒れました。

二月一日ジョンさんが、緊急に病院に運ばれたと聞いたとき、ぼくたちはみな懸命に祈りました。

まさかという思いがよぎりました

せん。

彼より二十年も長く生きているぼくが召されるのなら、わかります。しかし、なぜジョンさんなのですか。

彼はまだ若いではありませんか。なすべきことがあるではありませんか。これから用いられなければならない人ではありませんか。彼を必要とする人たちが多くいるではありませんか。

ぼくは途方に暮れるばかりでした。

ぼくたちの思いを超えた神のご計画があるのでしょうか。きっとそうなのだと思います。だから、ぼくたちは、それでもなお、この事実「イエス」というよりほかないのだと思います。

ジョンさんほどに愛と思いやりがあり、他の人の祝福を優先に考えた人があったでしょうか。

彼は愛の勇士でした。そのため彼のどんな労苦も惜しまず、しかもその行動は迅速でした。

熊本地震の時、ただちに電話をくれたのはジョンさんです。電話がすむと、翌朝には多くの援助物

資を車に乗せ、友人とともに遠く

静岡県掛川から熊本に向かっています。千キロの道のりを一睡もせず走り続け、地震の翌日に、ぼくたちの前に現れた彼を見たとき、ぼくは驚き、なんと真実な友をもったことかと感動し、どんなに慰められたことでしょう。

ジョンさんの両親とともに働いたことのあるぼくの妻は、彼の幼少時代に彼のお世話をしたことがあります。そんな彼女に対する彼の親切は格別でした。

そんなぼくたちに対してさえ彼は忘れがたい愛を示してくれたのです。

それならば妻の直美さんや子どもたちに対する彼の愛は、どれほど深く、大きいものだったでしょう。子どもたちはみなジョンさんの誇りでした。彼らはみな、ジョンさんの愛を惜しみなく受けて育ったのです。

ある講演に招かれたジョンさんは、こう訴えました。

「できるかできないかで子どもを判断しないで、今いてくれることが、今生きていてくれることに感

謝し、子どもたちをそのままで愛してほしい」と。

すると参加した人たちから、こんな感想が寄せられました。

「心あたたまる時間でした」「これからは『愛してる』と家族に言葉で伝えようと思います」

ジョンさんの愛のメッセージとその生き方は、今も多くの人びとの心に残っているのです。

そしてジョンさんが自分の子どもたちに示した愛は彼らの心にしつかり植えられ、育っています。やがて彼らがジョンさんの「愛の働き」を継続してくれるでしょう。

「グレースフエローシップ」という牧師会は、ジョンさんのお父さんやケニー宣教師の影響を受けた日本人牧師たちによって始められたものでした。その継続が危ぶまれたとき、成長したジョンさんが加わってくれて、有益な会へと導いてくれました。

○第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は米村牧師。

○今日は、米村牧師は、奈良福音教会で礼拝の奉仕をしています。

幸子さんも一緒です。その後、千葉の施設にいる幸子さんのお姉さんの信仰と愛が、しっかりと彼

の心に引き継がれていたからです。くるのは二月二五日（火）です。

先週の礼拝

英二さん、

大寒波が到来して、外輪山も白く雪化粧しているのではないかと想像しています。風邪など召されていませんかでしょうか。

さて、またまたご著書を贈ってください、感謝です。私は遅読な方ですが、英二さんの本は

文章がシンプルで明確で読みやすいだけでなく、引きつける内容、メッセージがあるからです。今回はヨハネ福音書からです

が、共感福音書と違って、特に出だしが観念的で難解なイメージを抱いていたところ、むしろ「ことば」「いのち」「光」と、だれにも分かる言葉で書かれて

いるという説明は、目に鱗でいた。出会いの大切さを説かれています。出会いの大切さを説かれています。出会いの大切さを説かれています。

そして英二さんとの出会いは私の人生にとって決定的なものでした。神のみ業に感謝です。

ジョンさん家族のために献金してください。ご利用ください。

今日の礼拝

牧師身辺

岡山大学でフランス語を教えている友人がいます。萩原直幸さんといいます。新しくできた

ぼくの本を送ると、いつも感想をよこしてくれます。以下は、今回の本『イエスの処方箋』に

ついて。